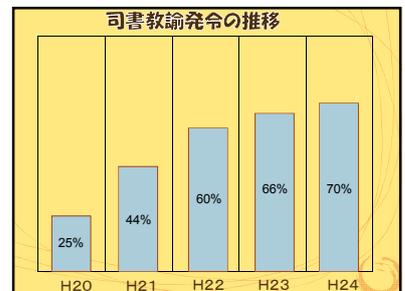
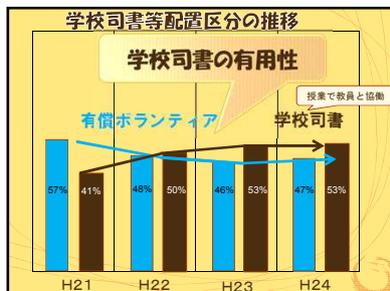
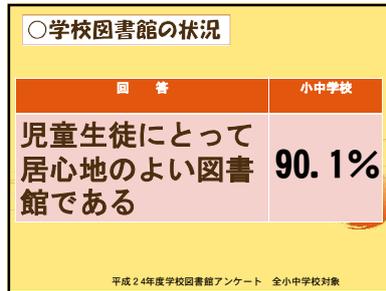


「人のいる学校図書館」をめざして
学校司書等の配置率

	H20	H25
小中学校	27%	100%
高等学校	67%	100%
特別支援学校	0%	100%





人のいる学校図書館が実現し
図書館の整備が進んだ

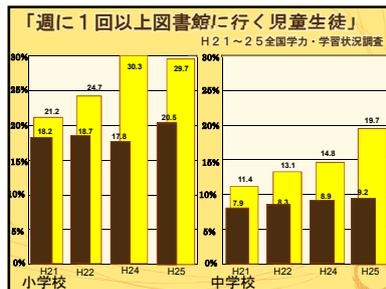


5年間で子どもたちの様子に変化が見られるようになった

一ヶ月に読む本
平成21年調査と平成24年調査との差異

減っている回答と増えている回答 島根県学力調査 平成21年～平成24年

	0冊	1～2冊	3～4冊	5～6冊	7～8冊	9～10冊	11～20冊	21～30冊	31冊～
小4	-1.3	-2.7	-1.6	0.6	-0.2	0.3	2.3	1.9	0.8
小5	-1	-2.9	-0.3	-0.2	0.5	1.2	0.6	0.7	1.3
小6	-2.7	-5.5	0.7	1.9	1.2	1	1	1.1	1.1
中1	-1.2	-3.4	1	1.4	0.8	1.2	0.8	0.3	0.5
中2	-0.4	-2	-0.4	0.6	0.3	0.8	0.3	0.4	0.2
中3	-0.4	-3.5	2	-0.9	0.8	0.4	0.5	-0.5	0.5



しかし、学校図書館があまりに長い問本の倉庫であったために・・・

学校図書館活用教育は必要？



今の子どもたちの学力に関する課題・・・

島根県学力調査から

全国学力・学習状況調査から

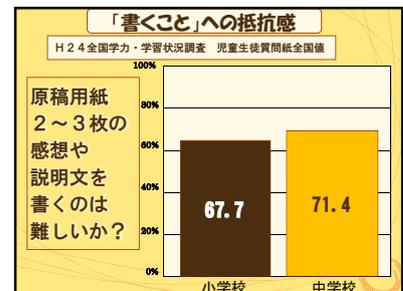
PISA調査(読解力)から

全国学力・学習状況調査から

算数・数学、国語ともに・・・

知識・技能を活用する問題に課題

記述式問題に課題



PISA調査(15歳対象)
学校で学んだ知識・技能を実生活で活用できるか

PISA調査にみる日本の子どもたちの状況

子どもたちの学力は、全体としては国際的に上位にあるが、

- ・読解力や記述式問題に課題がある
- ・**読解力や記述式問題の無答率が高い**

出典：H20.1 中央教育審議会答申 P13

全国学力・学習状況調査では・・・

島根県学力調査でも・・・

PISA調査も・・・

子どもたちに共通する課題は・・・

記述式問題

知識・技能を活用する問題

正解が一つでない

では・・・
 どうすれば・・・

知識の教え込みも必要

しかし・・・
 それだけでよいか？

↓

全国の小・中・高等学校数
37,181校
 [学校基本調査H24]

学習指導要領

学校教育の水準を確保するための
 学校教育法に基づいた教育課程の基準



学習指導要領

学校教育の水準を確保するための
 学校教育法に基づいた教育課程の基準

- ・小学校、中学校、高等学校
- ・教科
 国語、社会、算数・数学、・・・
- ・総合的な学習の時間・道徳
 特別活動・・・

学習指導要領

↓

教科書

学習指導要領の中の「学校図書館」についての記述

学校図書館を計画的に利用しその機能の活用を図り、児童（生徒）の主体的、意欲的な学習活動や読書活動を充実すること（総則）

学校図書館等における観賞用図書、映像資料などの活用を図る（中学校・美術）

学校図書館等の活用などの工夫を行う。（総合的な学習の時間）

課題設定

↓

図書資料

必要な情報

学校図書館を活用して展開する調べ学習

取り出し → 分析・整理 → まとめ → 発表

課題設定

課題の設定の仕方

情報を活用するためのスキル

目次・索引の使い方

付せんや情報カードの使い方

事典・辞典の使い方

図書資料

必要な情報

要約のしかた

新聞資料レポートの書き方

プレゼンのしかた

取り出し → 分析・整理 → まとめ → 発表